

- 問1 8世紀の奈良時代に出された墾田永年私財法により、開墾した土地を永久に自分のものにすることが認められた。これを利用して、貴族や大きな寺院が広げていった私有地を何というか。 (2022年 青森県公立入試 類似)
1. 荘園 2. 惣村 3. 公地公民 4. 口分田
- 問2 古代の日本において、対馬や北九州の沿岸部に「防人」が配置された主な理由として、歴史的背景をふまえて最も適切なものはどれですか。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)
1. 蝦夷(えみし)と呼ばれる東北地方の人々の反乱を抑えるため 2. 元寇によるモンゴル帝国の襲来を未然に防ぐため 3. 種子島に伝来した鉄砲の技術が外部へ流出するのを防ぐため 4. 白村江の戦いでの敗北後、唐や新羅の侵攻に備えるため
- 問3 奈良時代に編纂された書物のうち、中央政府の正史としてまとめられた『日本書紀』や『古事記』と比較した際の、『風土記』の特徴として適切な説明はどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
1. 万葉仮名を用いて、天皇から防人、農民まで幅広い階層の人々が詠んだ歌をまとめた。 2. 律令制度に基づく税の徴収を目的として、各地の戸籍や土地の面積を詳細に記した。 3. 天皇の系譜や国家の成り立ちを、神話や伝説を交えて年代順に体系化した。 4. 地方の国ごとに、土地の産物や地名の由来、古くから伝わる伝承などが記録された。
- 問4 奈良時代の中頃、聖武天皇は、社会の混乱を鎮めるために仏教の力によって国家の安泰をはかろうとしました。このような考え方を何といいますか。 (2023年 高知県公立入試 類似)
1. 神仏習合 2. 鎮護国家の思想 3. 末法思想 4. 浄土信仰
- 問5 古代の木簡には「肥後国(現在の熊本県)から綿を納める」といった記録が残されており、遠方の地域からも特産品が都へ運ばれていたことが分かります。当時の歴史書である『続日本紀』において、これらの品物を運搬した農民たちが直面した深刻な社会問題として記述されている内容はどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
1. 都までの道中で食料が尽き、飢えのために道端で亡くなる者が続出したこと 2. 運搬を担う農民があまりに多く、地方での稲作に深刻な人手不足が生じたこと 3. 運搬中に賊に襲われることを防ぐため、農民に武器の携帯が許可されたこと 4. 都での華やかな生活に触れた農民が、故郷の村へ帰るのを拒んだこと
- 問6 律令国家が「班田収授法」を定め、戸籍に基づいて6歳以上の男女に口分田を与えた目的と、その背景にある仕組みの説明として最も適切なものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
1. 土地の売買を自由化することで流通を活発にし、国家の財政を潤すため。 2. 農民を土地に結びつけて確実に把握し、租などの税を安定して徴収するため。 3. 能力の高い農民に多くの土地を優先的に配分し、農業の生産性を高めるため。 4. 貴族や寺社に広い私有地を与え、地方の開墾を効率的に進めさせるため。
- 問7 奈良の都を中心として、大陸の影響を受けた国際色豊かな文化が栄えた時代に関する説明として、聖武天皇ゆかりの品々や当時の国際交流を裏付ける宝物が納められた建物の名称を答えなさい。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
1. 鹿苑寺金閣 2. 正倉院 3. 法隆寺夢殿 4. 平等院鳳凰堂
- 問8 基盤の目状に整備された平城京の区画内に位置し、鑑真によって戒律が伝えられた唐招提寺が含まれる世界遺産「古都奈良の文化財」がある場所について、日本全国を対象とした地理的説明として最も適切なものを次から選びなさい。 (2022年 東京都公立入試 類似)
1. 近畿地方に位置し、古くから政治や文化の中心地として発展した奈良県周辺 2. 北海道地方に位置し、アイヌ文化や北方との交易の歴史を持つ地域 3. 九州地方の北部に位置し、古くから大陸との外交の窓口として機能した地域 4. 東北地方の南部に位置し、中世に奥州藤原氏が黄金文化を築いた福島県周辺
- 問9 聖武天皇の遺品などが納められている正倉院には、インドに起源を持つ楽器や、西アジアでつくられたとされるガラス製品が保存されています。これらの品々が8世紀の日本に存在している理由として、最も適切な背景を説明しているものはどれですか。 (2023年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 勘合貿易を通じて、明(中国)からインド産の豪華な宝物が輸入されたから 2. 鑑真が、東南アジア諸国を経由して多くの工芸品を日本へ伝えたから 3. 南蛮貿易の開始により、西アジアのガラス細工が直接日本に届いたから 4. 遣唐使が、唐に集まっていた西域やインドなどの多様な文化を持ち帰ったから
- 問10 奈良時代の律令国家において、一般の成人男子が負っていた税や義務に関する記述として、最も適切なものを1つ選びなさい。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
1. 惣と呼ばれる農民の自治組織を通じて、村単位でまとめて労役の免除を申請していた。 2. すべての税を絹や布に統一して納めることが定められ、稲や特産物の納入は免除されていた。 3. 田の面積に応じて稲を納める租の負担が免除される代わりに、兵役のみが課されていた。 4. 特産物を納める調や労役に代わる布を納める庸など、重い税や労役の負担が課されていた。
- 問11 奈良時代には、国家の成り立ちや天皇による統治の由来を記した歴史書と並行して、地方の状況を詳しくまとめた『風土記』が編纂されました。この『風土記』の内容について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
1. 防人や貴族など、様々な立場の人々が詠んだ歌を集めた日本最古の和歌集である。 2. 天皇の系譜や神話を中心に、国家の正統性を主張するためにまとめられた。 3. 全国の土地の肥沃さや特産物、地名の由来や古い伝説などが記録された。 4. 仏教の力で国を守るため、聖武天皇の命により全国の国ごとに建立された。
- 問12 律令制度における土地の配分ルールについて説明した記述として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。なお、面積の単位である「段」を用いて説明するものとします。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 土地の配分は一生に一度だけ行われ、男女の区別なく一律に三段の区分田が支給された。 2. 開墾した土地は永久に私有が認められたが、その代わりに面積の一分を区分田として国に返還しなければならなかった。 3. 唐の制度にならい、全ての農民に二段の土地が与えられたが、女性には土地を受け取る権利が認められていなかった。 4. 戸籍に基づいて6年ごとに配分が行われ、良民の男性には二段、女性にはその三分の二の面積の区分田が与えられた。
- 問13 東大寺の正倉院には、ペルシャ風の文様が施された水差しや、熱帯地方を原産とする木材を用いた楽器など、アジア各地との交流を物語る品々が数多く納められています。このような、遣唐使などを通じて異国の文化を積極的に取り入れた天平文化の特色を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2015年 富山県公立入試 類似)
1. 町人の経済力を背景とした、華やかな元祿文化 2. 平安貴族の生活に基づいた、日本独自の国風文化 3. 唐の影響を強く受けた、国際色豊かな文化 4. 禅宗の影響を受けた、簡素で力強い武家文化